



ふじさんネットワーク

FUJISAN
NETWORK

URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

Vol.49



御殿場市より

富士山憲章(行動規範)

1. 富士山の自然を学び、親しみ、豊かな恵みに感謝しよう。
1. 富士山の美しい自然を大切に守り、豊かな文化を育もう。
1. 富士山の自然環境への負荷を減らし、人との共生を図ろう。
1. 富士山の環境保全のために、一人ひとりが積極的に行動しよう。
1. 富士山の自然、景観、歴史・文化を後世に末長く継承しよう。

静岡県・山梨県

目次

Contents

1. 増澤新会長 就任のご挨拶
2. 活動体験
3. 自然観察会
4. 富士山エコレンジャー
5. 会員活動紹介

1 増澤新会長 就任のご挨拶

9月8日(火)に三島商工会議所で開催された幹事会において、特定非営利活動法人静岡自然環境研究会の増澤武弘理事長が新会長に選任され、10月1日付けで就任しました。

増澤新会長は、静岡大学理学部教授を経て、現在、静岡大学特任教授であり、富士山、南アルプスをはじめとして国内外で極限環境に生育する植物について研究されています。

新会長就任のご挨拶

「富士山における自然の変化」

富士山が世界文化遺産に登録されてから、2年が経過しました。それより以前には「自然遺産」としての認定をめざした経緯もあり、富士山の文化的価値と同時に、「自然の価値」の側面は長く支持され、推薦されてきました。世界文化遺産に認定される際にも、富士山をめぐる文化は、その自然の要素によって育まれ、守られてきたものとされました。

今も、文化遺産の構成資産となった神社などの周りは緑豊かな社叢が存在し、その背後には富士山の山体を覆う、自然の森林を見ることができます。しかし、実際には、長い間安定していたこの自然の条件は、いたるところで変化しつつあります。

まず、富士山頂には、過去には見られなかった、標高の低い場所に生育する維管束植物が侵入し、最近では花を咲かせ種子をつくるようにさえなってきました。また、永久凍土の減少、コケ類の分布拡大も見られます。中腹では、森林限界が上昇し、外来種の増加と多様化など、大きな変化として捉えられるようになってきました。森林限界より下には、亜高山帯の常緑針葉樹林、山地帯の落葉広葉樹林が広く分布していますが、ここにも近年大きな変化が見られます。この急速な変化をもたらしているのが、ニホンジカの食圧・踏圧です。ニホンジカは針葉樹の根元付近の樹皮を食べるため、大径木の樹勢が衰え、枯死した個体が目立つようになりました。落葉広葉樹林では、下層や林床の植生が全面的な食害を受け、天然更新が阻まれています。

さらに、大きいのは人の影響です。夏期に集中する登山による影響の他、多くの人々が走るトレイルランなど、集中的な踏み付けが生じる地点が増えてきました。

このような変化に対し、「富士山憲章」に鑑みて、現場での現象をしっかりと把握し、できる限り早い対応が必要です。私たちは行政と協力し、適切かつ迅速な対応をしなければなりません。これからも皆様と共に、協力して富士山の自然の保護・保全のため、手を携えて活動していきたいと思っております。



2 活動体験

富士山の自然環境保全について参加者が直接体験する、活動体験事業実施の様子を紹介いたします。

1 富士山の草原性植生保全活動体験(草刈)

日 時：10月3日(土)10時から15時まで

参加者：27名

場 所：富士宮市根原(根原県有地)

主 催：静岡県・富士宮市・ふじさんネットワーク

協 力：NPO法人 富士山自然の森づくり
富士宮自然観察の会

内 容：朝霧高原にある根原県有地は、富士山麓を代表する自然的景観と草原特有の貴重な生物相を有しています。このような草原は適切に人の手が加えられることで、その地域固有の生態系を維持しています。

近年、人とのかかわりが減少したことなどにより、草原の形態が失われつつあることから、一般ボランティアを募集し、草原性植生の維持のため草刈活動を体験しました。



秋晴れの下、背の高いススキを中心に刈っていきました。



草刈の後は、背の低い植物にも日が当たるようになりました。

2 富士山ごみ減量大作戦

日時：10月31日(土)9時30分から12時まで

参加者：41名

場所：裾野市須山周辺

主催：静岡県・静岡第一テレビ24時間テレビチャリティー委員会・裾野市

共催：ふじさんネットワーク

内容：富士山の山麓周辺道路沿いでは森林内への不法投棄や道路わき・駐車場などに多くのポイ捨てごみが見受けられ、富士山の美観とイメージを損ねています。

そこで、富士山の環境保全対策を推進するとともに、環境保全意識の高揚を図るため、ボランティアによる清掃活動「秋の富士山ごみ減量大作戦」を実施しました。

当日は晴天に恵まれ、参加者の皆さんは富士山の下で、真剣にごみ拾いに取り組んでくださいました。その結果、可燃ごみ130kg、不燃ごみ310kg、計440kgものごみを回収することができました。

また、主催の裾野市の協力により、裾野市立富士山資料館の無料見学も行われました。



紅葉の下、観光シーズンに溜ったごみを回収しました。



ごみを拾って軽トラックに集めていきました。



集まった不燃ごみの数々。



参加者全員で記念撮影を行いました。

3 自然観察会

富士山の自然と恵みに触れ、親しむことで、そのすばらしい自然環境を守っていく意識を高めていただくため、川と山の両方で自然観察会を実施しました。その様子を紹介します。

1 「富士山の自然と恵み 柿田川」親子で水に親しむ自然観察会

日時：8月15日(土)9時30分から12時まで

場所：柿田川公園(駿東郡清水町)

参加者：30家族101名

主催：ふじさんネットワーク

案内役：(公財)柿田川みどりのトラスト、柿田川自然保護の会

内容：富士山からの恵みである湧き水で形成された柿田川に直接入る、貴重な機会を設けることができました。

親子で捕まえた生き物を水槽に集め、案内役から名前や生態の解説を受けました。

今回は、ウツセミカジカ、ホトケドジョウ、ミシマバイカモ、ヒンジモといった貴重な絶滅危惧種・準絶滅危惧種をはじめ、サワガニ、オニヤンマといった生きものを観察しました。(捕まえた生き物は、ザリガニなど家で飼育できるものを除いて、すべて川に帰しました。)



親子で一緒に、川の中の生き物を探しました。



案内役から、捕まえた生き物やミシマバイカモの解説があり、参加者の皆さんが熱心に聞き入っていました。

2 富士山ガラン沢自然観察会

日 時：10月11日(日)8時45分から16時まで

場 所：富士山自然休養林内 高鉢山～ガラン沢～旧料金所ゲート

参加者：39名

主 催：ふじさんネットワーク

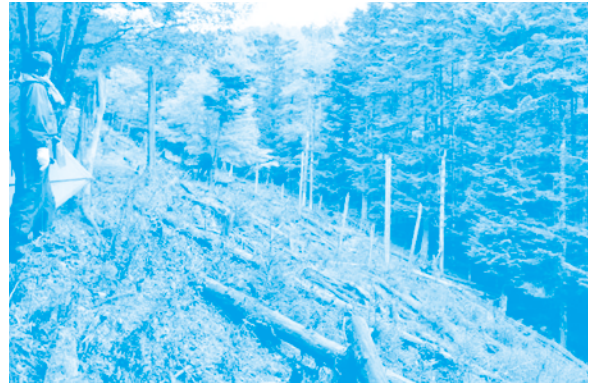
案内役：富士箱根伊豆自然観察指導員連絡会

内 容：富士山の一合目から二合目に当たる、豊かな森林を歩いて自然観察を行いました。道中にはシナノキの大木が多く見られ、キノコも多くの種類が確認できました。

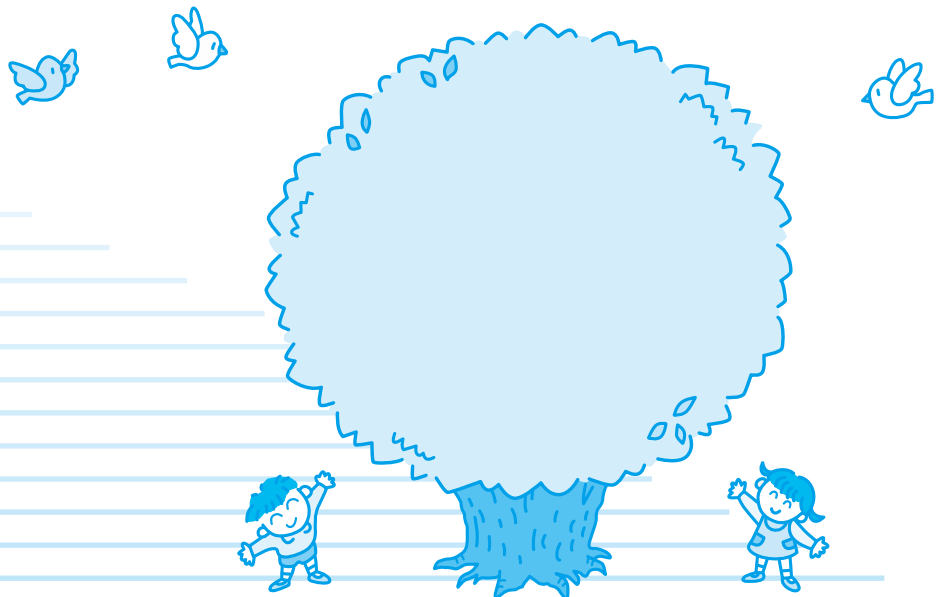
また、平成8年の台風による大規模な倒木の跡が観察できました。案内役からは、「倒木の後にすぐに人が植林をしてしまうと、草⇒低木⇒高木という本来の森林再生のサイクルを省略してしまうこととなり、生物多様性の観点からは疑問である」旨解説がありました。



シナノキの大木



台風による倒木の跡



4 富士山エコレンジャー

1 「ウルトラトレイル・マウントフジ2015」の開催に係る意見交換会

富士山の周囲の登山道等を走って一周するウルトラトレイル・マウントフジ(UTMF)が、富士山の環境に与える影響と問題点について、主催者、監督官庁、及び現地調査を行った関係者が認識を共有するため、意見交換会が開催されました。

日時：7月27日(月)9時30分から12時30分まで

場所：富士宮市役所4階 410会議室

出席団体：(国)環境省箱根自然環境事務所、静岡森林管理署

(県)静岡県自然保護課

(市町(主催者))富士宮市、富士市、御殿場市、裾野市、小山町

(主催者)UTMF実行委員会事務局

(関係者(現地調査実施者))富士山エコレンジャー連絡会 計28名

内容：① 参加者自己紹介 ② 大会の開催計画・コース説明
③ エコレンジャーによる調査報告・問題点の指摘
④ 市町からの意見・提案 ⑤ 質疑応答 ⑥ 主催者への提案

提案内容：① 調査箇所の合同現地確認の実施

② 2015年コースの合同事前確認の実施

③ 専門家による自然環境調査の実施

④ 「自然環境への影響」に関する参加者への周知徹底

⑤ 荒れた箇所の今後の対策



2 「ウルトラトレイル・マウントフジ2015」のコース事前現地確認

7月27日に開催された意見交換会の結果を受けて、関係者によるウルトラトレイル・マウントフジのコースの合同現地確認が、3回に渡って実施されました。

結果、複数の荒廃箇所が確認され、これまでに実施されたレースとの因果関係は明確ではありませんが、影響を及ぼしていることは否定できず、今後も継続調査が必要との認識を共有することができました。

第1回	<p>日時：8月21日(金)8時50分から13時30分まで</p> <p>場所：裾野市須山口歩道コース</p> <p>参加者：環境省沼津自然保護官事務所、静岡県自然保護課、裾野市、御殿場市、UTMF実行委員会事務局、富士山エコレンジャー 計13名</p>
第2回	<p>日時：8月27日(木)</p> <p>9時45分から15時まで</p> <p>場所：小山町明神峠自然環境保全地域コース</p> <p>参加者：環境省沼津自然保護官事務所、静岡県自然保護課、小山町、UTMF実行委員会事務局 計10名</p>
第3回	<p>日時：8月28日(金)</p> <p>9時15分から14時30分まで</p> <p>場所：富士宮市長ヶ岳～国民休暇村富士コース、富士宮市根原地区コース</p> <p>参加者：環境省沼津自然保護官事務所、静岡県自然保護課、富士宮市、富士市、UTMF実行委員会事務局、富士山エコレンジャー 計14名</p>



5 会員活動紹介

西伊豆の自然と親しむ会

西伊豆町一色 482

TEL・FAX 0558-52-0690

本会は、平成15年に「静岡県地域の子どもの育む推進事業」として発足しました。海・山・川が身近にあっても、親子でそれらに触れることが少なくなったのではと感じ、親子を対象に観察会を行っています。

- 故郷のいい所を見つけて故郷を好きになろう
- 故郷の人たちと共に、故郷を誇りにしよう
- 故郷を大切に、自然と共存しよう



という願いを掲げて活動をしています。

活動は5月～12月(8月を除く)の間、月1回のペースで年に7回行っています。

今年の活動(予定)

- 5月 浮島(西伊豆町)潮だまりの観察
- 6月 弁天島(松崎町)化石の観察
- 7月 大沢(松崎町)川の生き物観察
- 9月 富士山(御殿場)双子山登山
- 10月 大滝(西伊豆町)
- 11月 宮が原(西伊豆町)音無し川の観察
- 12月 安城公園(西伊豆町)樹木の観察



全員で双子山の頂上

会の10周年の節目に、それまで観察した場所を中心に観察マップを作成しました。その中に、富士山が見える地点を特に記載するほど、西伊豆町、松崎町の西海岸に住む者にとって富士山は特別なものです。

9月に念願かなって御殿場口新五合目まで行き、双子山に登ることができました。この経験は、参加者の皆さんを、ますます富士山が好きになり、富士山をこれからも大事にしていこうという気持ちにさせてくれたと確信しています。

登った子どもたちは
『大きくなったら天辺まで登る!』
と張り切っています。



さあ出発 バスを降りた所



2015年12月 vol.49

編集・発行 / ぶじさんネットワーク事務局

静岡県くらし・環境部環境局自然保護課内

〒420-8601 静岡市葵区追手町9番6号

電話054-221-2963 ファックス054-221-3278

E-mail 3776fuj@pref.shizuoka.jp URL <http://www.fujisan-net.gr.jp/>

ぶじさんネットワーク

- 設立 平成11年10月23日
- 会長 増澤 武弘
(特定非営利活動法人静岡自然環境研究会理事長・静岡大学特任教授)
- 会員数 495団体・個人 (H27.11.30現在)